

留守家庭児童会の現状における課題

芦屋市学童保育保護者連絡会

留守家庭児童会の現状に対して、私たち保護者は、以下の項目のような課題の改善を求めています。

子育て支援のためのさまざまな取り組みがされる中でも、働きながら子育てをする親や、学童期の子ども達を取りまく社会の状況は、ますます厳しくなっています。次代を担う将来の芦屋市民を社会全体で育てていく施策として、学童保育の社会的役割はますます重要になっていると考えます。

芦屋市の留守家庭児童会の運営について、現状をご理解いただき、子ども子育て会議における十分な議論のうえ、子ども子育て支援新制度の下での制度整備が図られますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1. 学童保育として、現行の留守家庭児童会での1年生から6年生までの実施。
2. 学校休校日の開級時間について、普段の登校時間と同様の午前8時の開級。
3. 警報発令時の学童保育の実施。
4. 将来の入級児童数を見通した施設整備。
5. 学童保育と全児童対策事業との各々固有の目的を踏まえた、それぞれの事業の充実。
6. 学童保育の質の向上（指導員の研修）。
7. 延長保育の指導員体制の改善。
8. 保護者と指導員との話し合い（学級保護者会）の機会について。
9. 学保連、教育委員会、指導員3者の話し合いの場の設定。

以上